

平成 28 年度 感性・人間工学研究に関わる成果発表会 開催報告
KANSEI“感性”に訴えるものづくり！
～「人の心に響くものづくり」の取組についてご紹介～

主催 公益財団法人ちゅうごく産業創造センター、ひろしま感性イノベーション推進協議会
後援 中国経済産業局、広島県、広島市、広島大学感性イノベーション研究推進機構（COI）、
（一社）中国地域ニュービジネス協議会、（独）中小企業基盤整備機構中国本部、
（一社）日本人間工学会、日本感性工学会

【概要】

当センターは、ひろしま感性イノベーション推進協議会との共催で、感性及び人間工学の研究活動に関わる成果発表会を広島市で開催し、大学や企業などから126名が参加しました。

講演会では、「人の感性に寄り添うロボット開発」と題して、シャープ株式会社 課長 宮田彰氏から、持ち歩きできる小型ヒューマノイドであり、音声で会話をしながら使う新しいユーザーインターフェイスをもった携帯電話であるロボホンの開発について講演をいただきました。ロボホンは、5歳の男の子というコンセプトで、鼻筋のふくらみなどの顔の表情や体型、ポーズについてこだわりを追究し、また、動きや話し言葉を人間の感性にフィットするまで練り込んでいったことなどを紹介いただきました。

取組内容の紹介では、広島県 梶原良氏からひろしま感性イノベーション推進協議会の取組について、当センターから中国地域質感色感研究会の取組について紹介した後、中国地域質感色感研究会の具体的な取組事例として、ダイヤ工業株式会社 石田健士氏から「bonbone ブランド確立のためのデザイン分析」、サムテック・イノベーションズ株式会社 高本智仙氏から「目視検査における光源色と物体色の関係の調査」、IKEUCHI ORGANIC 株式会社 松田加緒瑠氏から「縫製による赤ちゃんのストレスの感じ方の関係性について」と題してそれぞれ取組内容を発表していただきました。

その後珈琲・紅茶とスイーツによる立食形式でのカフェ・サロン（交流会）を開催し、講演者、発表者を交え参加者で活発な情報交換を行いました。

また、併せて会場後方で、13の企業・団体による展示会を開催しました。

【日時・会場】

平成 29 年 3 月 10 日（金）

発表会 13:30～16:30（受付 13:00～）、カフェ・サロン 16:40～17:40、
展示会 13:00～16:30

ホテルメルパルク広島 6階平成の間（広島市中区基町6-36）

【プログラム】

≪ 講演 ≫

「人の感性に寄り添うロボット開発」

シャープ株式会社 IoT 通信事業本部 パーソナル通信事業部 機構開発部 課長 宮田 彰氏

≪取組内容の紹介≫

「ひろしま感性イノベーション推進協議会の取組について」

広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム 梶原 良氏

「中国地域質感色感研究会の取組について」

（公財）ちゅうごく産業創造センター事務局

「bonbone ブランド確立のためのデザイン分析」

ダイヤ工業株式会社 メーカー本部 デザイン部門 部門長 石田健士氏

「目視検査における光源色と物体色の関係の調査」

サムテック・イノベーションズ株式会社 代表取締役 高本智仙氏

「縫製による赤ちゃんのストレスの感じ方の関係性について」

IKEUCHI ORGANIC 株式会社 営業部 デザイン/製品開発・品質管理室 松田加緒瑠氏

≪カフェ・サロン（交流会）≫

珈琲・紅茶とスイーツによる立食形式の情報交換会（無料）

≪展示会≫

シャープ株式会社、株式会社サンライン、アルジュ・ジャパン株式会社、ダイヤ工業株式会社、株式会社バイストン、IKEUCHI ORGANIC 株式会社、株式会社小川長春館、リョービ株式会社、サムテック・イノベーションズ株式会社、株式会社ニシウラ、西部工業技術センター生産技術アカデミー、感性イノベーション研究推進機構（COI）、ちゅうごく産業創造センター

【講演風景（シャープ株式会社 宮田彰氏）】



【ダイヤ工業株式会社 石田健士氏】



【サムテック・イノベーションズ株式会社 高本智仙氏】



【IKEUCHI ORGANIC 株式会社 松田加緒瑠氏】



【展示会風景】



【事務局の所感】

大量にモノがあふれる世の中となつて久しく、更にその勢いは留まることを知りませんが、そのような中で人間の感性にフィットする製品が注目を集め、売れています。

今回、動きや話し言葉が人間の感性にフィットするまで練り込まれたモバイル型『ロボット電話』ロボホンの開発について中国地域の企業の皆さまにご紹介し、魅力的で付加価値の高い商品・サービスの開発に有用な情報を提供できたと考えています。

講師の宮田さまは、質感色感研究会が発足した H23 年度から H25 年度までの 3 年間、当研究会に在席された方で、その経験が有益であったと紹介していただき、研究会事務局として大変うれしく思いました。

また、当研究会メンバー企業の魅力的で付加価値の高いモノづくりの取組内容についてご紹介しましたが、引き続き、当研究会活動の促進に努め、中国地域の企業の皆さまに有用な情報を紹介していきます。